豊田工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	歴史ⅡA

科目基礎情報

科目番号	03122	科目区分	一般 / 選択必修（社）
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	情報工学科	対象学年	3
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「高校世界史Ｂ」「高校日本史Ｂ」（山川出版社）　「最新世界史図説　タペストリー」（帝国書院）／プリント資料		
担当教員	京極 俊明		

到達目標

(ア)第一次世界大戦までの近現代の世界の変化について、おおきな流れを説明できる。
(イ)近世の日本社会から日本の近代化の進展とその問題点について、世界状況の中に位置付けて説明できる。
(ウ)第二次産業革命とそれがもたらした社会の変化について考えることができる。
(エ)第一次世界大戦の背景と影響を説明できる。
(オ)この時代の科学技術の発展と戦争がどのように関わっていたのか考えることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
評価項目(A)	第一次世界大戦までの近現代の日本と世界の変化について、おおきな流れを理解でき、説明できる。	第一次世界大戦までの近現代の日本と世界の変化について、おおきな流れを理解できる。	第一次世界大戦までの近現代の日本と世界の変化について、おおきな流れを理解できない。
評価項目(B)	第二次産業革命とそれがもたらした社会の変化について考え、説明できることができる。	第二次産業革命とそれがもたらした社会の変化について理解できる。	第二次産業革命とそれがもたらした社会の変化について理解できない。
評価項目(C)	第一次世界大戦の経緯と科学技術と戦争の関係を理解し、他者に説明できる。	第一次世界大戦の経緯と科学技術と戦争の関係を理解できる。	第一次世界大戦の経緯と科学技術と戦争の関係を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ⑤ 技術者倫理

教育方法等

概要	近世から近代にかけて、ヨーロッパの国々は世界中に進出し、帝国主義政策によって、アジア・アフリカ世界に政治的・経済的支配を拡大しながら、自国の利益を求めて互いに激しく争うことになった。この対立は、世界を大戦争へと導いていく。また、長い間続いた鎖国を解いて開国した明治維新以後の日本も、激動の世界情勢への対応を迫られ、近代化を進めたのである。とくに、この時代に急激に発展した科学技術が、社会にどのような影響を与えたかを意識しながら、この時代の世界と日本の社会の特徴を、相互に関連づけて理解していきたい。
授業の進め方・方法	
注意点	

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	近世・近代東アジア世界の発展（明・清帝国の繁栄、アジア世界の展開）	明・清と同時代のアジアについて説明できる。
		2週	近世・近代東アジア世界の発展（明・清帝国の繁栄、アジア世界の展開）	明・清と同時代のアジアについて説明できる。
		3週	近代アジア世界の変化とヨーロッパ（アジアの帝国の動揺と植民地化の進展）	アジア諸地域の動揺と植民地化の過程について説明できる。
		4週	近代アジア世界の変化とヨーロッパ（アジアの帝国の動揺と植民地化の進展）	アジア諸地域の動揺と植民地化の過程について説明できる。
		5週	近代アジア世界の変化とヨーロッパ（アジアの帝国の動揺と植民地化の進展）	アジア諸地域の動揺と植民地化の過程について説明できる。
		6週	近代東アジア世界の変動（帝国主義諸国の展開と東アジア世界の対応）	列強の侵略と中国、日本の近代化政策について説明できる。
		7週	近代東アジア世界の変動（帝国主義諸国の展開と東アジア世界の対応）	列強の侵略と中国、日本の近代化政策について説明できる。
		8週	近代東アジア世界の変動（帝国主義諸国の展開と東アジア世界の対応）	列強の侵略と中国、日本の近代化政策について説明できる。
	2ndQ	9週	第二次産業革命と帝国主義の時代（技術発展と世界の一体化）	第二次産業革命と帝国主義について説明できる。
		10週	第二次産業革命と帝国主義の時代（技術発展と世界の一体化）	第二次産業革命と帝国主義について説明できる。
		11週	第二次産業革命と帝国主義の時代（技術発展と世界の一体化）	第二次産業革命と帝国主義について説明できる。
		12週	第一次世界大戦の背景と経過	第一次世界大戦が起きた背景について説明できる。
		13週	第一次世界大戦の背景と経過	第一次世界大戦の経過について説明できる。
		14週	ヴェルサイユ体制の成立	第一次世界大戦の戦後処理とその問題点について説明できる。
		15週	前期のまとめ	前期範囲について、課題を解き、理解を深めることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	

				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	中間試験	定期試験	課題	合計
総合評価割合	35	55	10	100
基礎的能力	35	55	10	100